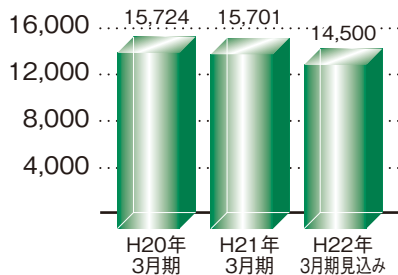


○決算の状況

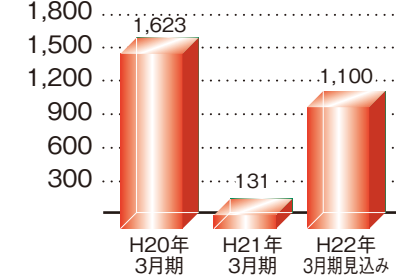
■経常収益

[百万円]



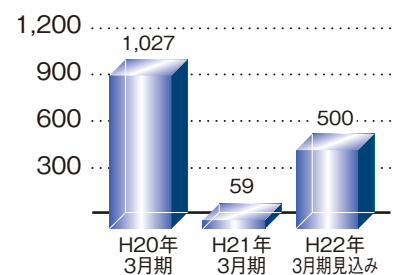
■経常利益

[百万円]



■当期純利益

[百万円]

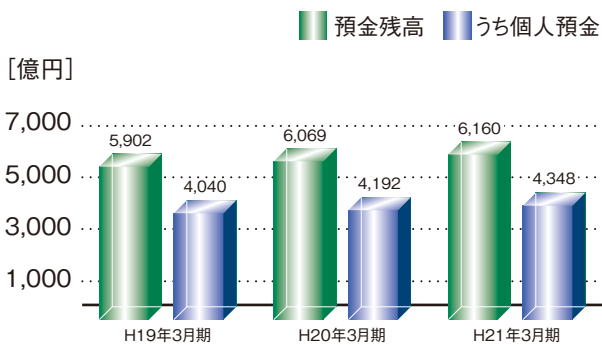


- 経常収益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金が増加したため資金運用収益は増加しましたが、預り資産販売の低迷により役務収益が減少し、前期比23百万円減収の157億1百万円となりました。
- 経常利益は、与信関連費用が前期比大幅に減少したものの、金融市場の混乱をうけ、株式の継続保有による株価変動リスクを回避するために株式等売却損を計上したことや店舗の新設、営業店端末の更改などの設備投資を行ったことにより、前期比14億92百万円減少し、1億31百万円となりました。
- 上記により、当期純利益は前期比9億68百万円減少し、59百万円となりました。

○預貸金・預り資産・自己資本比率の状況

■預金の状況

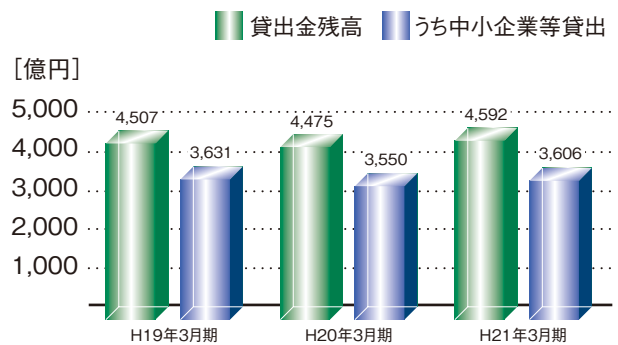
- 預金残高は前期比91億円増加し6,160億円となりました。特に個人預金については「運だめし」や「一等星」などの個人向け商品が好調に推移し、同156億円増加し、4,348億円となりました。



※譲渡性預金を含む。

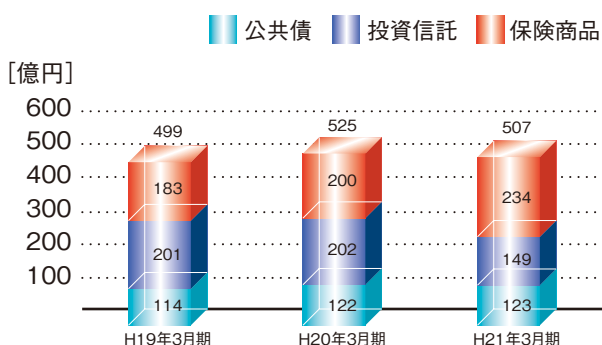
■貸出金の状況

- 経営理念の下、中小企業の皆様への安定的な資金供給に引き続き注力した結果、前期比117億円増加し、4,592億円となりました。



■預り資産の状況

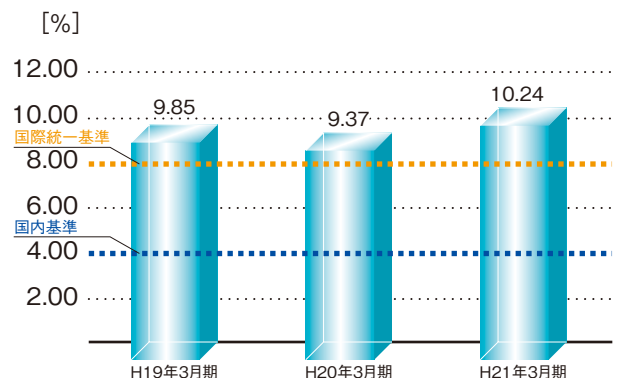
- 保険商品や投資信託等の豊富なラインナップによりお客様の幅広い資産運用ニーズにお応えしましたが、投資信託の基準価額が下落した影響等により、全体で507億円となりました。



※保険商品は販売額の累計です。

■連結自己資本比率

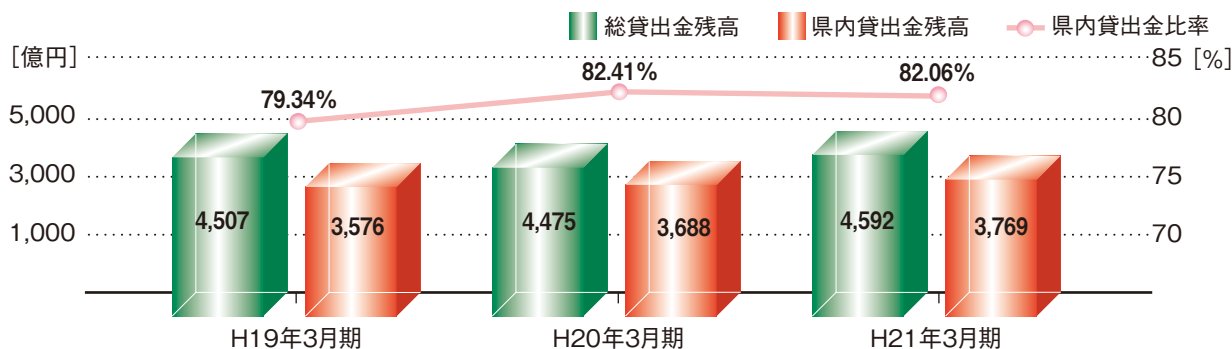
- 連結自己資本比率は、国内基準を採用しております。H21年3月期は、目標としていた10%を超え、10.24%となりました。



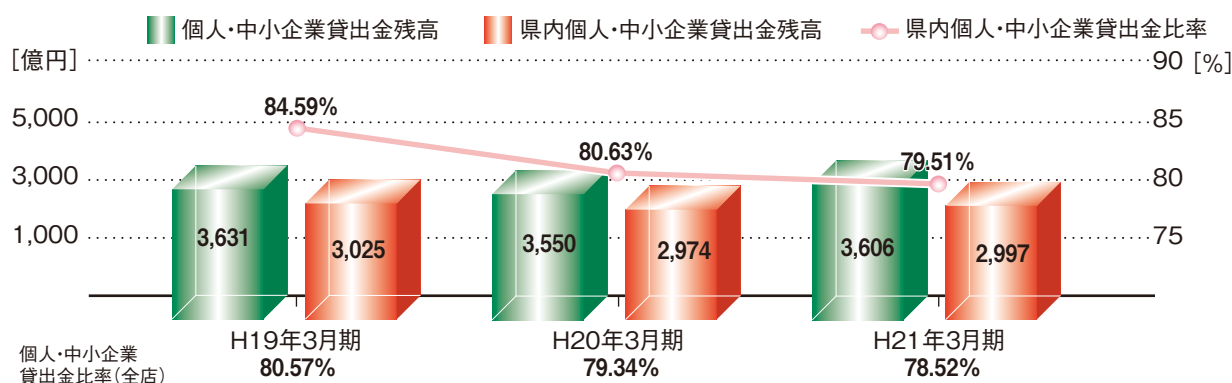
地域のお客様へのご融資

当行ご融資の約8割は岩手県内への貸出となっており地域に密着した営業展開を行っております。またご融資の約8割は、個人・中小企業のお客様への貸出で占められており、その維持・向上こそが当行の使命である地域社会の発展に寄与することと認識しております。

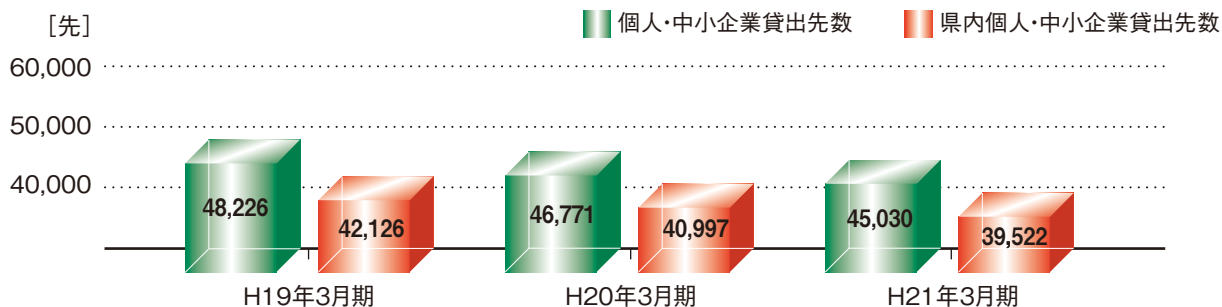
■ 県内貸出金残高・貸出金比率 ※本誌に記載している「県内」は、岩手県内店舗の合計値を採用しております。



■ 県内個人・中小企業向け貸出金残高・貸出金比率



■ 県内個人・中小企業向け貸出先数



用語解説

個人・中小企業貸出金比率

貸出金合計に占める個人・中小企業貸出金の割合で、「中小企業」とは、資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業・サービス業は5千万円)以下の会社または常用する従業員が300人(ただし、卸売業は100人、小売業は50人、サービス業は100人)以下の会社をいいます。